

## 令和7年鋸南町教育委員会第9回定例会議事録

1. 日 時 令和7年8月21日（木）午後2時00分～午後3時00分
2. 場 所 鋸南町立中央公民館 2階会議室
3. 出席委員 教育長 富永安男 教育長職務代理者 山野正人  
委 員 篠原恭恵 委 員 伊藤尚徳
4. 出席職員 教育課長 安田隆博 主任指導主事 助川孝浩  
教育総務室長 小川幸子 生涯学習室長 山口東子
5. 開 会 富永教育長が開会を宣言
6. 議事録署名人の指名 富永教育長が篠原委員を指名
7. 前回会議録の承認 令和7年7月17日開催の第8回定例会議事録について承認
8. 会議の傍聴者 傍聴者なし
9. 教育長の報告

教育長の報告ですが、2点お話をしたいと思います。

まず初めに沈黙という罪という資料ですが、お読みいただければということですが、なかなか世の中には解決しそうでしない問題というのはいっぱいあるのだなという、改めて思うのですけども、そうは言っても、いつの時代も公正公平な社会でないと、わざわざ生きている意味もないのではないかという感じもいたします。

そういう点では、森園学園問題だとかその兵庫県の斎藤知事の問題なんていうのは、かなりスケールの大きい話で、私の中では全く及びもつかないような話だと思いますが、この某中学校の生徒会の事件なんていうのは、こんなことはあってはならないなと思いますね。決して許されることじゃないなと思っております。

そんなことで沈黙は金という言葉はありますが、ある程度コミュニケーションを通じるには、人間ってやっぱり相手に伝えることをしないと駄目だと私は思いますね。言うべきことは言って、憶測でものをいうことも必要かもしれませんが、それだけではやっぱり通じないんだなっていうことを、最近考えております。

2点目ですが、コミュニケーションって大事だなと思うのですけども、コミュニケーションみたいなのは、日本人っていうのは、そんなにいちいち言わなくても、相手が勝手に

想像してくれるんだというような、そういった日本の美德みたいな考え方ってあるじゃないですか。だから沈黙は金なのだろうっていうことになるのですが。

でも、アメリカの学校と日本の学校の大きな違いがこれだって言うんですね。この方は教員ではありませんが、ご自分で会社を起こされて動かすという会社の代表だそうですが、自分もアメリカ、外国の研究をされているんですね。

この方は、人間のコミュニケーションにおいては、伝え方が9割だという信念をお持ちの方なので、これを見ますとなるほどと思うんですね。先ほど言いましたように我々日本人というのは、そんなにいちいち言わなくても、気持ちでわかるんだとか、心と心で通じるから、いちいち言わなくてもいいという考えがありますよね。

しかしやはりそれだけではなかなか、伝わらないことはたくさんあるな。ましてこれからAIの社会になると、余計かと思います。

だから、そういう意味ではコミュニケーションが大事だというのですが、アメリカの教育課程においては義務教育に入っています。

この方は、日本の義務教育の中にも、コミュニケーション学科というものもあるかどうかわからないけども、義務教育にそういったコミュニケーションを学ぶ科目を入れて、さらには教科書ができればいいなというのが、夢だったと、私も同感に思いますね。そこまでいなくても、もう少し相手に伝える力が必要なんじゃないかと思っております。

鋸南の教育でもそういった方面で少しずつ取り入れていければいいかなって思っています。

また教育委員の皆様におかれましては、また色々とアドバイスをいただければありがたいなと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

以上で教育長の報告とさせていただきます。

## 10. 議 事

### (1) 議決事項

#### ① 議案第1号 鋸南町社会教育バス運行要綱の一部改正について

- ・山口生涯学習室長から、議案について、乗車定員が28人から33人に変更になったこと及び、変更に伴う申請書様式の改正について説明がなされた。

(質疑等)

- ・山野委員から、「28人が33人になった経緯について、教えていただきたい。」

との質疑に対し、

山口生涯学習室長から、「令和4年12月に購入したバスは、従来の座席がゆったりしたものでなく、通常の座席数に変更になったためです。」との答弁がなされた。その他に、質疑はなく全会一致で可決された。

## 11. 報告事項

### (1) 行事の後援の承認について

- ・小川教育総務室長から、行事の後援承認は全会の定例会以降2件だった旨、報告・説明がなされた。

### (2) 各担当からの報告について

①助川主任指導主事から、各学校の様子、通学路点検についての、説明・報告がなされた。

- ・篠原委員から、「家庭的に非常に大変な子供さんは、特にどのように生活していたか。」との質疑に対し、

助川主任指導主事から、学校からの連絡が取れない場合、児童家庭センターに委託している事業により、週2回弁当を届けることで安全確認をしています。」との答弁がなされた。

- ・同じく篠原委員から、「学力検査について、テレビ報道で全国学力が非常に落ちているという報道をしていたが、鋸南町はどうか。」との質疑に対し、

助川主任指導主事から、全国的な都道府県の格差が減ってきています。

鋸南町の子たちは、考えて自分の意見を書くことが弱い傾向があります。学校の先生方も結果分析をしながら、2学期以降の進め方を考えています。」との答弁がなされた。

- ・山野委員から、「自分の子どもや仲間も、長く書かなければならぬ問題は拒否してしまう子が多くいるようだ。」との意見がなされた。

②山口生涯学習室長から、9月議会定例会で計上の補正予算・社会教育施設等の前年度利用状況・歴史民俗資料館の特別展・B&G海洋センター及び運動場前年度利用実績について、説明・報告がなされた。

- ・伊藤委員から、「手ぶら拡声器は、どのようなものか。」との質疑に対し、

山口生涯学習室長から、「首からぶらさげて使うもので、ハンズフリーマイク、アンプ、スピーカーのすべてが内蔵となったものです。」との答弁がなされた。

- ・篠原委員から「富士登山は、高学年の参加者はどのくらいいたのか。また、B G塾の低学年の申し込みが多く、参加できなかった子がいるようだが、日数を減らし、多くの子が参加できるようにならないか。」との質疑に対し、山口生涯学習室長から、「富士登山の高学年は、定員は15名のところ17名で実施しました。」、「B G塾は、B & G財団の補助金を活用した事業で、可能かどうか、次回までに確認をさせていただきます。」との答弁がなされた。

③小川教育総務室長から、9月議会定例会で計上の補正予算・小学校小中学校のGIGAスクール端末の契約について、説明・報告がなされた。

④安田教育課長から、9月議会上程の条例(子ども誰でも通園制度)制定について、説明がなされた。

## 12. その他

①小川教育総務室長から、今後の行事日程について、別紙説明資料により、報告・説明がなされた。

②富永教育長から、11月の定例会日程について協議があり、20日木曜日中央公民館で開催することに決定した。

## 13. 教育長が閉会を宣言

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証明する。

令和7年9月18日

鋸南町教育委員会	教育長	富永安男
	教育委員	篠原恭恵
	事務局	小川幸子